

大東文化学園
教職員組合連合機関紙
第 1073 号
2014 年 1 月 15 日発行



E-MAIL:daito-un@boreas.dti.ne.jp
http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/
p/f (03) 3935-9505

本号の内容

- ◆新年のご挨拶
- ◆組合員投稿：損なわれ続ける関係を越える
- ◆新年の集いのお知らせ

◆新年のご挨拶◆

2014 年 1 月吉日

新春のお慶びを申し上げます。

新春こそ、晴れやかな気分で迎えたいところですが、なかなかそんな気分にはさせてはくれません。一昨年の暮れに誕生した安倍政権は、当初経済再生に専念するがごとく振る舞っていましたが、その実は、復興支援の名の下での大盤振る舞いと国債の濫発、4 月からは消費増税が決まり、経済と人気に陰りが見えはじめました。さらに、特定機密保護法案の強行採決に続き、靖国神社への参拝と、この政権の本質が露呈してきました。

靖国神社といえば、私たち大東文化学園組合連合は昨年 7 月、神田界限の見学ツアーを実施し、その中で靖国神社遊就館の見学がありました。そこで目にしたのは、戦前の日本が行ってきたことの正当化でしかありませんでした。安倍首相の靖国参拝に対して、アメリカを含めた諸外国が失望するのは当然のことと感じます。

大東文化学園を囲む状況も極めて難しい状況にあります。特に少子高齢化の影響で、学生募集において学校間競争が激しくなっています。このような状況下で昨年暮れに行われた学長選挙では、2 候補者のどちらもが、①学部・学科再編、②都心の新キャンパス、③4 年同一キャンパスをマニフェストに掲げているように、抜本的な大学改革が焦眉の急となっています。大学改革の必要性は将来基本計画 2023 でも、このことは取り上げられています。しかしこれらの改革を進めていくにあたって、学部・学科間の利害関係と学部自治の壁により、前途多難であることは間違いありません。

学生の学習意欲の低下も指摘されています。私立大学新入生の家計負担調査では、学費以外の仕送り額が年々減り続けており(2012 年 89500 円)、これは過去一番高かった 1994 年(124,900 円)と比べて 34,500 円の減額で、学生のアルバイトへの依存が強く、勉学に専念できない状況にあり、この影響が大きいと考えられます。

また組合活動も、転換期にきています。これまで、私たちはベアや待遇改善を学園側に要求すると共に、弱者の立場に立って、奨学金制度の拡充など学生支援を春闘要求書の中に組み込んできました。さらに一步進めて、学園改革に対しても提案力があり、学部・学科はもとより、大学職員、高校・幼稚園教員の横断的な組織として存在感を高めていくことが重要と考えています。

おかげさまで、昨年 12 月に新執行部が成立しました。新たに 6 名の方が執行委員に加わり、行動力と発信力のある組合を目指したいと考えています。今後とも、引き続き、組合活動にご協力、ご参加の程をお願いいたします。

大東文化学園教職員組合連合
執行委員長 山口 由二

◆損なわれ続ける関係を越える

(組員投稿)

経営学科 水谷正大

事象はそれぞれの立場で各様に受け止められ、多くは都合のよいように記録され史実として伝えられていく。この経緯は私たちの認識の在り方を正確に反映している。私たちがいかに状況の奴隷に陥ってしまうかの戒めでもある。政治的局面においては当事者同士が同一の事実であると認めることはきわめて困難であることは誰でも経験していることだ。それゆえに権力の狭間で生じる当事者の歴史は憎しみの連鎖として血塗られてしまい易い。この轍を私たちは今も繰り返しているし、おそらくこれからも続けていくだろう。私たちはそんなにも愚かだったのか？然り。では私たちは愚かなままの存在であるのだろうか？

この問いは真摯に考える意義がある。この 100 年間に人類史上最初の世界大戦を二度も起こしてしまった。1914 年に始まった第一次世界大戦は 3700 万人の犠牲者を出したという（統計によって幅がある）。20 世紀の幕開けはきら星のごとく、文学では T.マンや R.ロラン、S.ツバイクたち、絵画では P.セザンヌや P.ピカソたち、音楽では G.マーラーや A.シェーンベルクたち、また、S.フロイト、B.ラッセルたち、そして数学の D.ヒルベルトたちや物理学の A.アインシュタインなどなど（挙げるべき人々は他にもいくらかいる）と人類史上の奇跡ともいえる文芸・学術の頂点として始まったにもかかわらず、第一次世界大戦では何らの理性も感じさせない殺戮行為を組織的に続けてもいた。しかし同時に、分裂と混乱の極みにあったヨーロッパ全体を一体的に捉え統一であることを志向する汎ヨーロッパ主義を生み出した。日本人を母として東京で生まれた R.クーデンホーフ＝カレルギーなどの活動が今日のヨーロッパ連合を実現させた。

安倍首相が 2013 年 12 月 26 日に東京靖国神社に参拝した。当日、筆者は北京の中国科学院に出張しており安否を尋ねるメールを少なからずいただきその事実を知り驚いた。もっと驚いたのはその反響の規模である。北京の日本大使館は大勢の人が集まる場所の通行や中国人と接する際の言動に注意するよう在留邦人に注意喚起メールを送った。在日アメリカ大使館は直ちに（後に国務省からも）次の声明を発表した："Japan is a valued ally and friend. Nevertheless, the United States is disappointed that Japan's leadership has taken an action that will exacerbate tensions with Japan's neighbors. ...省略... We take note of the Prime Minister's expression of remorse for the past and his reaffirmation of Japan's commitment to peace." また、ヨーロッパ連合の高官 Catherine Ashton も同日論評をした："This action is not conducive to lowering tensions in the region or to improving relations with Japan's neighbors, especially China and Republic of Korea."

この寄稿は安倍首相の靖国参拝を抗議／賛同の立場から何かを主張することを意図しないが、取り巻く情勢は私たちが思う以上にゆゆしき段階にある。事実、12 月 29 日（28 日 New York）には潘基文国連事務総長のスポークスマン声明もだされた："It is highly regrettable that tensions from the past are still plaguing the region...省略.. Leaders bear special responsibility in that regard, as the region should strive to be forward-looking and harmonious." 世界的な反応は全体として日中韓の緊張を牽制する色合いだ。

安倍首相がいう通りに「尊い命を戦争で亡くされた方々に敬意を払い、その方々の魂が安らかに眠られることを祈る」ことは世界の人々にとって大切な行為だ。厚生労働省は第二次世界大戦の戦没者を約 240 万人としている。靖国神社は幕末以降の国事に殉じた軍人、軍属等の戦没者（もちろん政府軍であったものだけである）を「英霊」と称して今日では 246 万人を祀っている。靖国神社は神社本庁との関係を持たない東京都の単立宗教法人であり、その来歴は 1860 年台に遡る国策「神社」であって伝統的神社の在り方から逸脱している。日本政府軍関係者だけを合祀し（戦後に殉職した自衛官、海上保安官、政府職員等は祀られていないのだが）、日本軍に協力・徴用された海外兵や内外の民間人の犠牲者を含まない靖国神社のような場所はあってもよいのかもしれない。内外からの靖国に対する批判や憂慮は、一部の政治家が戦没者を埋葬してある千鳥ヶ淵戦没者墓苑（海外における戦没軍人及び一般邦人の遺骨を納めた無名戦没者の墓として 1959 年に建設。環境省管轄）などでなく靖国神

社に参拝することに向けられている。しかし、靖国問題を政治化する内外の主張はたいへん危険であり、それぞれの地域にする人々には何ももたらさないことを改めて確認することがこの寄稿の目的である。

私たちは誰もが自分たちの生に意味を見いだしたいと願っている。人間関係を超越した殺戮行為である戦争は生の意義を踏みにじる。戦争は生きてきた一人ひとりの人生の終焉を無駄死へと墮し、せいぜいがその名前と死者の数だけを記録するに過ぎない。死者を重ねることが国家の礎となり、一層の教訓が得ることが有意味なのだとは私たちが納得することができない。肉親を友を愛する者を戦争死で失うことは受け入れがたい。「英霊」となることでその死に意味を見いだせる人々はいらるだろう。しかしながら、同時に「英霊」でない戦没者の死に値した意味がはぎ取られたままであることに私たちは思い至るべきだろう。受け入れがたいその不条理を憎しみによって耐え、あるいは復讐を誓うことで聖戦に備えようとする限界的な心の在り方を確認する必要がある。私たちが戦死者に敬意を払うときには、その死者を挟んだ両側にむけて静かに寄り添うことが必要だ。

「中国や韓国の方々の気持ちを傷つける意図は全くない」という安倍首相の発言は真意だと思いたい。しかし、戦禍で犠牲となった内外の関係者には届かないだろう。「不戦の誓いを堅持していく決意」は靖国参拝の説明として適切性を欠いている。「安部首相の靖国神社参拝は個人的な問題であり、政治的・外交的な問題として扱われるべきではない」（岸田外務大臣）というふやけた認識は、もし靖国参拝にある種の意図を含ませてないのだとすれば、政治・外交感覚を決定的に欠いている。戦禍に巻き込まれた人々やその関係者をますます置き去りにしてしまうばかりだ。

特定秘密法、靖国問題、そして憲法改定へと安倍首相の施策は短期的に観察すれば首尾一貫している。しかし、安倍首相に至るまでの経緯と安倍首相以降の行く末という少し長い射程で捉えたとき、国家の方向性についての首相個人ないし時の政権依存度が大きいことでもたらされる性急さが含意する危うさを拭い去ることができない。安倍政権も中国政府も韓国政府もそれぞれの立場で上げた3つの手を最初に下ろす気配がないことは大きな脅威へと成長している。隣国としての中国と韓国および北朝鮮そしてロシアとの相互の幾筋かの複雑な関係はこれからも続いていく（国境問題も重ねて抱え続けていかなければならない）。その道筋の上で歴史の振り子はそれぞれ各国政府の内情と国際状況に合わせて二重に揺らいでいる。大きく振れたならば次は揺り戻されるというのが歴史のダイナミズムである。

中韓の激しい反応の裏返しとして、国内の一部には首相の靖国参拝を正しいとし中韓の批判を干渉だと排斥する見方がある。近頃みられるような日中韓三国におけるイラ立ちを隠そうとしないこの種の論理は決して世界性を獲得できないだろう。外交は非当事国をまたぐメッセージ交換と当事国間の時間をかけた綿密な準備に基づく粘り強い交渉・駆け引きによってようやく進めることができる。自国の主張だけではいかに意を尽くしたとしても国際的な理解は得られない。日本、中国、韓国の過熱し続ける応酬合戦によって外交日程は棚上げされ政治的不透明・不安定要因を生んでいる。結果、国際的信用と安定性の低下によって相互の国益を喪失しつつある。事実、そうした日中および日韓の緊張の高まりは民間レベルや学術のレベルにおける交流益を確実に損なってきた。筆者が参加していた学術交流も一昨年停止した（関係者の努力でようやく昨年末に再開できた矢先に現在の状況を迎えている）。個々人での交流は続けられるはずだとしても、培ってきた良好な関係が各国政府の都合でたやすく台なしになりかねない危うさに私たちはおののくのだ。

第二次世界大戦を経験したアジア各国は、今後、植民支配からの脱却と西洋への対抗を越えて進むべき未来の理想を構想しその理念を共有する方向に収束していくのだろうか。人類史上最大の汚点であるナチズムが生み出したホロコースト、それにもかかわらずヨーロッパ連合に至る道が潰えなかったことを思い起こそう。アジアを構成するそれぞれの立場の中に、あるいはアジア的なるものの中にきらめく叡智が数多くあるはずだ。

国家間の緊張は市民の政治的操作と軍事的緊張以外の何ものも生み出さない。私たちは学園に集う多くのアジアからの留学生に向けて自由闊達な行動を慎むように通達を出さねばならないような悪夢にうなされたくはない。

◆連合旗開きのお知らせ

新年あけましておめでとうございます。

前号の 2014 年新年の集いのお知らせの中で、講談の演目名が違っておりましたので、訂正してお詫び申し上げます。皆様どうぞふるってご参加ください。(書記局)

2014 年新年の集い(連合旗びらき)開催!

恒例となりました「大東文化学園教職員組合連合主催『2014 新年の集い』」を下記の通り開催いたします。

新春のお忙しい中とは存じますが是非お集まり頂き、新春のお祝いをしたいと思います。皆さまのお越しをお待ちしております。

今回は講談師 **神田 山吹** 様をお迎えして、

文学部・宮瀧交二先生作：「『**大漢和辞典**』誕生物語」の公演を予定しています！
新春のひとつき、大東文化大学ならではの貴重な講談を体験してみませんか？
組合員でなくても参加できますので皆様で是非おいでください！



プロフィール

1 月 25 日生まれ(水瓶座) 埼玉県さいたま市出身
現在も埼玉県さいたま市在住
芸歴 平成 6 年 8 月 友人に連れられて行った寄席で講談を知り、約一ヶ月半寄席に通いつめる。
9 月 新宿永谷ホールへ故二代目神田山陽師を 訪ねる。
11 月 二代目神田山陽に入門、芸名エリ
平成 7 年 1 月 見習から前座になる
平成 11 年 5 月 二つ目昇進、芸名を山吹に改名
平成 12 年 10 月 山陽師匠が亡くなる(享年 91 歳)
平成 13 年 1 月 総領弟子神田松鯉師匠門下へ
平成 18 年 9 月 真打昇進



活動内容：黒門町本牧亭 お江戸日本橋亭 お江戸広小路亭 お江戸両国亭 新宿亭 池袋演芸場
浅草園芸ホール 浅草東洋館 木馬亭などの都内の寄席を 中心に全国各地で公演しています

日時:2014 年 1 月 20 日(月)午後 6:30~
場所:生協カフェテリア(板橋校舎 1 号館地下 1 階)

組合員の皆様歓迎!
非組合員の皆様も大歓迎です!

本紙は大学組合 web サイト <http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/> にも掲載しています。併せてご利用いただければ幸いです。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。